八王子市立第三小・第四小・第十小学校

放課後子ども教室 囲碁教室だより

80号 2023年5月

編集 成田 滋 <u>shigerunarita@gmail.com</u>

ブログ https://naritas.jp/wp1/

八王子囲碁連盟 https://hachigoren.com





Lilies of the Valley

4月からの放課後子ども囲碁教室ではマスクの着用は自由です。

◆ 5 月の放課後子ども囲碁教室の日程—基本から学べます。

- ・**第三小学校**:5月2日、9日、16日、23日、30日 毎 週火曜日 2時30分~ 四階 家庭科室
- ・**第四小学校**:5月1日、8日、15日、22日、29日 毎 週月曜日

1時00分~ 二階 ひらめき教室 (変わりました)

・第十小学校:5月12日、19日、26日 毎週金曜日 2時30分~ 一階 家庭科室

◆ 学校の風景 その 1 クレヨン

1949 年、私は小学 2 年生でした。「父兄参観日」があって、母が教室にやってきました。図工の時間になりました。丁度クレヨンが出回った頃です。私はクレヨンを持っていきませんでした。買ってもらっていなかったのかもしれません。

教室にはクレヨンを拾い集めた箱があって、短くなったものがたくさん入っていました。私はその箱からクレヨンをとって絵をかきました。母はそれを見ていて、わが子がクレヨンを持っていなかったことを恥ずかしかったようです。今もその表情をうっすらと覚えています。戦後の貧しい生活の中、懸命に働いていた母親の姿とクレヨン話は遠い思い出となりました。

◆ 学校の風景 その2 単位制を

「以前から思っていたのですが、学習する内容を学年で区切るやり方はなんとかならないでしょうか。」ということを筑波の友人から問いかけられました。この方には発達障がいの特徴を示す二人のお子さんがおいででした。

遠い昔から「あの子は○年生なんだから」と親も教師もよく言っています。○年生なら○○ができて当たり前だと思ってきました。学年で子どもの集団を分けると、学習に苦戦する子どもにとっては「○年生なのにできない」と自分自身の自身心を下げてしまいます。逆に習熟度の高い子どもは「こんなに簡単にできるのに、なぜもっと難しい勉強ができないの?」と学習意欲をそがれることになります。

この友人は「せめて単元ごと程度の単

位にバラして、得意を伸ばし深める教育を考えたらどうでしょうか。」という挑戦的な提言をしています。単位制の学校が必要だというのです。学習指導要領への痛烈な批判です。

◆ 学校の風景 その3 「最後の授業」

1873年に出版されたアルフォンス・ドーデの短編小説集にでてくる話です。フランス領アルザス地方の学校での話です。少年、フランツは学校に遅刻します。いつも担任のアメル先生は厳しく、生徒は鞭で打たれることがあるのです。その朝、先生はいつもと違って優しく坐るようにとフランツに言います。

フランツは緊張します。教室に元村長など大人 たちがいるではありませんか。アメル先生は生徒 と大人たちに対して、「自分が授業をするのはこれが最後です」と話し始めます。

1871年5月におきたプロイセン王国(今のドイツ)との戦争でフランスが負けたため、アルザス地方ではドイツ語しか教えてはいけないことになったのです。フランス語を教えるアメル先生は辞めることになります。これがフランス語の最後の授業だというのです。

アメル先生はフランス語を学ぶことの大切さを教えます。その時、プロイセン兵のラッパの音が響きます。アメル先生は黙って黒板に"フランス万歳"と書いて「みんな帰えりなさい」と手で合図し「最後の授業」を終えるのです。

「最後の授業」は 1953 年に教科書から学んだ 私の学校の一つです。お陰でヨーロッパや世界史 に関心が向くきっかけとなった小説です。

▶ ◆私のブログから

『アメリカ合衆国の州を愛称から巡る』と題してアメリカの50州を紹介しています。

https://naritas.jp/wp1